

【区分[エ] 医療機関受診勧奨の流れ】

健診データ

いずれかに該当

- ①空腹時血糖または随時血糖
126mg/dl以上
- ②HbA1c6.5%以上

レセプト又は問診

- ③過去1年間の糖尿病による医療機関受療歴がない者(レセプトデータなし)

<受診勧奨後の受療歴なし>

※2回目以降の受診勧奨のポイント

- ①1回目と別の方法で受診勧奨を行う
など工夫が必要
- ②対象者が医療機関受診の必要性について認識できる方法を考慮
- ③医療機関受診の阻害要因を対象者から聞き取り、受療行動につながる仕組みを検討

■ : かかりつけ医、専門医

■ : 保険者等

<受診勧奨の方法を検討>

- ※文書、電話、面接、訪問等、対象者に効果的と判断される方法を検討
- ※特に、尿蛋白定性(±)以上の場合、治療中断歴のある対象者は、**確実に**医療機関受診につながるような方法を検討することが望ましい
- ※腎障害の程度、血圧区分も考慮する

<受診勧奨>

- ※受診勧奨台帳等により実施状況を管理することが望ましい
- ※「医療機関受診勧奨連絡票」(参考様式1)を対象者に渡し、医療機関受診時に持参するよう伝える

2~3ヶ月後

<レセプト確認>

受診勧奨後の糖尿病受療歴等を確認する

受診勧奨後
受療歴あり

<保険者へ返信>

「医療機関受診勧奨連絡票」
(参考様式1)により、医療機関受診結果を受診勧奨元へ返信

<受診後フォロー>

必要に応じて、健康教育等の情報提供やかかりつけ医と連携した保健指導につなげる